

別記第2号様式（第3関係）

令和3年度 主目標・重点事業・チーム目標設定状況報告書

所属名	岐阜県立三光園	所属長名	曾我 美穂 印
<p>主目標</p> <p>利用者の個性を尊重した個別支援計画の実施とともに、きめ細やかなサービス提供に努め利用者の満足度につなげる。また障害者支援施設としての機能を地域福祉に活かす。</p>			
<p>重点事業</p> <p>① 個別支援計画に基づいた適切な支援につながるよう、サービスの検証、修正、評価等を行い、質の向上に努める。</p> <p>② 利用者とのコミュニケーションを重視し、利用者の意思を尊重した良質なサービスを提供する。</p> <p>③ 多様な利用者ニーズに対応できるよう介護技術や障がい特性の研修を実施し、専門性の高いサービスを提供する。</p> <p>④ 地域とともにできること、福祉施設としての機能を活かし、地域の福祉ニーズに応える。</p>			
<p>チーム目標（①③④）</p> <p><u>経営グループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> サービスシステム管理委員会を中心として内部監査を実施。確認・評価にとどまらず、評価に基づく見直しやサービス提供について確認を行う体制をつくる。 研修委員会を中心とし、職員からの多様なニーズに対応できる専門的な研修を計画し、利用者に安全・安心な支援を提供できるよう努める。また、利用者や委託業者（給食委託）との合同研修企画等、利用者の生活向上や、夢に向けての第一歩となる企画を行う。 疾病や体調不良に伴う長期入院の削減に向け、疾病や体調不良の早期発見・早期治療（目標：入院延べ日数420日以内）に心がけるとともに、相談支援事業所等の連携を図り、空床期間削減に努める。 山県市障害者自立支援推進協議会、福祉サービス事業者連絡会に参加し、地域の関係機関等と連携し、短期入所、日中一時支援の利用者増に繋げる。 			
<p>チーム目標（①②③）</p> <p><u>南フロアグループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者参画のもと、重度化、高齢化等を考慮した個別支援計画を作成し、利用者本人が満足できる生活を送れるよう支援する。 対応の難しい利用者については継続的にケース検討を行い、統一した支援の実施や職員の悩みを軽減するとともに、医療との連携を密に図りながら、本人やご家族が望む生活が継続できるよう支援する。 職員の専門性の底上げを図るため、介護技術向上や福祉機器活用のための研修のほか、強度行動障害や多様性について理解し、利用者本位の支援に活かすための学習を行う。 施設（地域）移行を望む利用者に対しては、移行に向けた情報収集や見学等を行い、福祉施設としての役割を果たせるよう努力する。 			
<p>チーム目標（①②③）</p> <p><u>北フロアグループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の個性を尊重し、利用者本人が個別支援計画を意欲的に取り組めるよう支援する。会議録や日誌の充実を図り、職員間で情報共有・連携し、統一した方向性を持った支援を実施する。 重度・高齢化に伴い医療との連携を密に図りながら、本人やご家族が望む生活が継続できるよう支援する。 介護技術向上や福祉機器活用のための研修のほか、障害特性の多様性について理解し、利用者・職員とも安心・安全な生活や支援が提供できるようにする。 			

※チーム目標の（ ）内には、「重点事業の①」などと、関連する事業名を記載すること。